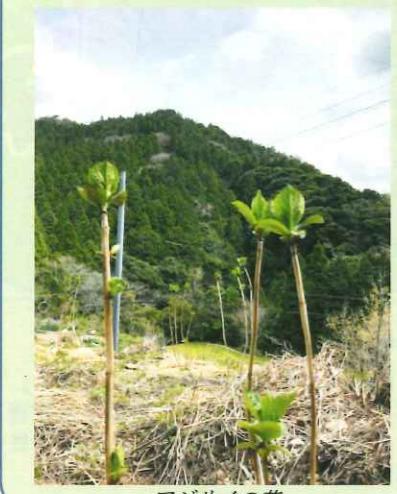


児童養護施設

大村子供の家



栗の芽



アジサイの芽



引越し後のお部屋

もぬけの殻となつた本体
施設の部屋を見るとなんだ
か寂しい気もしますが、少し
ずつリフォームを加えながら
一時保護やショートステイの子ども達の受け皿として、地域の方々にもご利用いただけるような空間にしていきたいと考えています。



春の訪れを楽しむ

待ちに待った春がやってきました。子供の家の桜並木はピンク色に染まり、「黒木子どもの森」にも春の訪れを感じさせる緑が芽吹きつつあります。冬に植えたあじさいや栗の苗木からも、早速芽が出始めました。植物だけでなく、虫や魚、動物もこれから活発に動き出します。お花見や野菜の栽培と収穫、虫取り、魚釣りなどの自然体験はその季節ごとにしか味わえない贅沢な遊びだと私は思います。植物や虫、魚といつても、季節によって出会えるものは異なります。また何と出くわすかわからない（出会えるかもわからない）というワクワク感があります。それが自然遊びの醍醐味であり、大人にとっても楽しめる理由だと感じています。

という私も幼少時代、「ゲームボーイ」や「スーパーファミコン」などハマりした世代であります。ゲームも遊びの選択肢の一つとしてあっても良いと思いますが、私の場合、いつの日かゲームに飽きてしまいました。ゲームは人間が創り出したものであり、結果も一度決まっており、物足りなさを感じたからです。子ども達にはゲーム以外に、自然が創り出す贅沢な遊びにも、是非触れてほしいと思います。命の育みや、その不確実性を楽しむ過程で、新たな知恵や探求心が芽生えるかもしれません。

お引越しが完了

昨年度は老朽化した地域の小規模児童養護施設を3棟順番に建て替え、また今年4月から本体施設の1ホームを地域に出すこととなり、それに伴うお引越しで大変でした。時期はバラバラでしたが、昨年度だけで総勢25人近くの子どもたちが職員と共に新しいホームに大移動。新しい環境に期待を膨らませる子ども達が殆どでしたが、一方で引っ越しの大変さも身に染みてわかつたようです。新ホームに移動すると「どここの部屋にする?」これが子どもたちの一番の心事。だいたい年上のお兄ちゃんお姉ちゃんから2階の部屋を選んでいきます。ハード面はより家庭的になりましたが、これからはソフ面(子ども達との関わり)もさらに家庭的にしていこうと職員一同意気込んでいます。地域の方々には引き続きご迷惑をおかけするかと思いますが、子ども達の養育にお力添えをいただけるといいます。何かございましたらいつでも子供の家にご連絡ください。

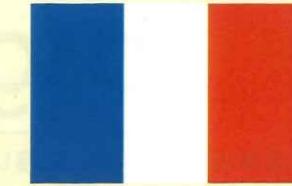


新しく建て替わった福崎ホーム

世界の国からこんにちは

～フランスの児童保護制度～

松本 幸治



フランスの小学校をZoom視察

資生堂社会福祉事業財団の研修団員として、昨年12月から今年の2月にかけてフランスの児童保護制度を学ぶ機会がありました。本来であれば現地を訪れるはずでしたが、コロナ禍により、日本からリモートでの研修になりました(本場のワインが楽しめず残念)。

研修を経て小生が感じた日本とフランスの児童保護の違いを3つご紹介します。

一つ目は行政措置(いわゆる児童相談所による措置)と司法措置(子ども専門裁判官による措置)の2本柱で児童保護を行っている点です。日本の場合、行政措置が殆どで、一部、家庭裁判所を経て親子分離をすることもありますが、稀なケースであり、またそのプロセスに時間がかかります。フランスの場合、施設入所のケースでも司法措置の割合が半分以上を占めており、親の同意がとれない場合はただちに司法判断に委ねられます。

二つ目は、「在宅支援(予防)」に力を入れているところです。日本の児童保護の場合、主に「施設入所」か「里親」かの2択ですが、フランスは「在宅支援」か「施設入所」か「里親」かの3択となります。在宅支援も様々な形があり、措置の一環で定期的にエデュケーター(社会教育指導員)や心理士、家事支援員が家庭に入り、親子共々教育支援を行ったり、家事育ての支援を行う場合もあれば、措置を受けずとも、日常生活の中(学校や路上、ネットSNS上)にエデュケーターがいて、心配な子ども達を見守り、子どもたちが気軽に相談できる環境があります。また、青少年が予約無しでいつでも悩み相談ができる「ティーンエイジャーの家」もフランス全土に100か所近く存在します。

三つ目にフランスでは「虐待」というネガティブな言葉をあまり使わず、「心配な家庭」と呼び、保護すべき対象を広げています。例えば不登校児や非行児についても対象となります。支援の対象は子どもだけでなく、親も含まれ、親の困り感を一緒にになって解決していくというスタンスで支援が行われています。フランスでは心配な家庭を見つけたら、報告義務があり、それを怠ると罰せられます。

日本人の私から見て、フランスでは様々な専門家や近隣の方々が「おせっかい」と思えるほど、心配な家庭に積極的に関与していました。移民の増加や、医療体制の逼迫(公立の精神医療センターはあるが数か月予約待ちですぐには通えず、民間医療はすぐ利用できるが、費用負担が大きい)等、日本にはない課題を抱えている面もありますが、フランスの積極的な児童保護制度から日本が学ぶべき点が多くあると感じています。



フランス(パリ)と日本(東京)をZoomで繋ぎ研修



行事予定

4月・・・小学校・中学校・高校始業式・入学式(上旬)、新人職員研修(子家)、大村市長訪問(子家)

5月・・・健康表彰・レク大会(子家)、黒木ディキャンプ(b&g)、プロ野球観戦(子家)

6月・・・遠足(ランド)、実習生受入(子家)、九州ブロック児童養護施設研修(子家)

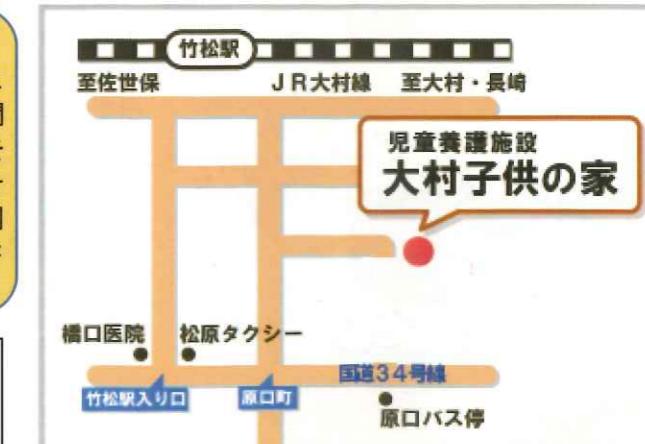


編集後記

最近戦争のニュースがとても気になっています。「戦争=過去のこと」と思っていましたが、今もなお起こっている現実であり、人間はいかに愚かで弱く、過去から学べない生き物なのかということを痛感しています。プロパガンダは本当に怖いです。過去の日本もそのような時代がありましたが、同じ失敗を繰り返さないように、周囲の圧力にも負けず、何が真実なのか、一人ひとりが見極める強さを持たなければならないと感じています。KM

大村子供の家 〒856-0811 長崎県大村市原口町591番地2

TEL 0957-55-8319 FAX 0957-55-4661

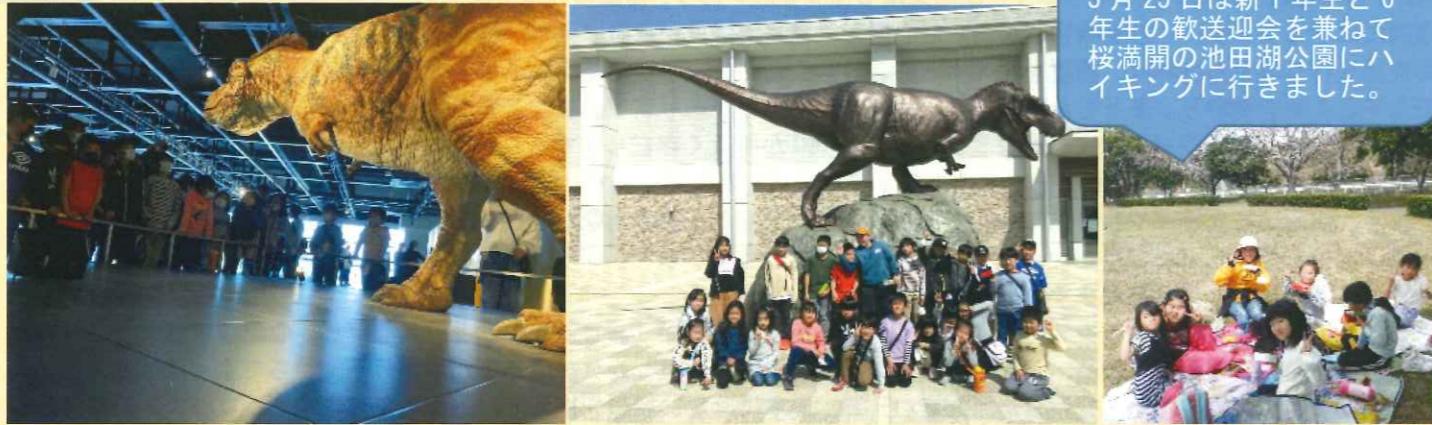


b&g おむら

放課後児童クラブ

ワクワク楽しいおでかけ企画！

陽春の暖かさが心地良い3月12日（土曜日）、軍艦島を眺めることができる長崎市野母崎にオープンした恐竜博物館に行ってきました。往路のバスの中では子ども達のわくわく声が響いていました。恐竜博物館に到着すると、恐竜の銅像前で記念写真を「パシャリ」。興奮して楽しそうに過ごす子ども達の笑顔を切り取ろうと撮影担当スタッフも大忙し。館内に入ると恐竜の骨格や模型がずらりと並び、なかなかの迫力。特に動くティラノサウルスには子ども達も釘付けでした。恐竜の頭蓋骨のデッサンに挑戦する子どもや骨に興味津々の子ども、解説をしっかりと読む子どもなど様々な楽しみ方をしていました。大迫力の恐竜を楽しんだ後は、軍艦島が見えるホテルのレストランでランチタイム。レモンの乗ったお肉に、ご飯が何杯もすすむ子もいました。昼食後はホテルの中庭をお借りして休憩。良い景色と満腹感が子ども達をその日一番の笑顔にしていました。軍艦島をバックに最後の記念写真を撮り、帰りの車中ではイントロクイズで盛り上がりました。



認定こども園 キッズランド

～第三回卒園式＆卒園記念制作～

3月12日(土) 第3回卒園式を行いました。コロナ禍のため短時間での静かな式となりましたが、12名の卒園児は堂々と保育証書を受け取り、お父さんお母さんのもとへ。「いつもありがとうございます」「お仕事がんばってね」など、自分の言葉で感謝の気持ちを伝えることができました。

4月からは小学生！キッズランドはこれからもずっとみんなのことを応援していますよ。



キッズランド開園から3年間、園長を務めていた朝長留美子先生が、3月末でご退職されました。キッズランドの礎を築き、時には厳しく、時には優しく子どもたちにも慕われた素晴らしい先生でした。引き続き何らかの形で、法人大村子供の家にご協力いただけたらと考えています。4月から後任として波戸口利勝先生が着任されます。皆さまどうぞよろしくお願ひします。

児童養護施設 大村子供の家 ～新生活のスタート～

春に卒業・入学する子ども達。今年は4人が卒園し、全国各地それぞれの進路に立っていました。また、4月から5人が新高校生、4人が新中学生になります。国立大学や進学高校に進む子ども達もいて、コロナ禍の中、よく勉強を頑張りました。子ども一人一人に思い出や今後の意気込みについて聞いてみました。

国立大学に進学するAさん

大学では日商簿記検定一級に合格するため、勉強をがんばりたいです。また、サークル活動を通して自分自身を成長させて、充実した学校生活を送りたいです。

県外の看護専門学校に進学するHさん

私は高校で部活（バスケ）に打ち込んでいたので、施設の行事にあまり参加できず、思い出という思い出は特に無いのですが、唯一印象に残っているのが、部活で疲れて帰ってきた時の先生達の「おかえり」という言葉です。一人暮らしになると、「おかえり」「いってらっしゃい」と言ってくれる人が居なくなるので寂しいですね（笑）子供の家の生活は何不自由なく、職員も良く小さい子とのお喋りが楽しかったです。短い間でしたが、先生方ありがとうございました。

県外の美容専門学校に進学するRさん

大村子供の家に来て、沢山の学び、沢山の友達を作ることができました。今まで当たり前のことがなかなかできずにいた私に対し、時にはストレートに言葉で伝えずに、行動で細かく示してくれた子供の家の先生方にとても感謝しています。これからは、自分の夢を叶えるために専門学校へ行き、卒業して先生方、支えてくれた方に恩返ししていきます。本当に世話になりました。

公立高校に進学するMさん

- ・可愛く
- ・純粋に
- ・女子力
- ・時間を守る
- ・清楚な動き
- ・笑顔はいつも心の中に
- ・「ありがとう」「ゴメン」をしっかりと
- ・男を落とす愛らしいテクニック
- ・「私が一番」をいつも心に

公立高校に進学するRくん

資格を取る！

私立高校に進学するKくん

何事も全力で努力して笑顔を絶やすずに頑張る。

私立高校に進学するRくん

勉強を頑張り、周囲とも仲良くする。

中学1年生になるAさん

中学生になったら勉強一筋で頑張っていきたいです。特に数学、科学を頑張ろう！！（苦手分野だから）。友達も作るぞ。頑張ろう！！みんな最初からだから一歩一歩頑張っていこう！

中学1年生になるRさん

中学校では勉強、部活などを頑張りたいです。そして人の役に立つこともたくさんしたいです（地域のゴミ拾いなど）。

中学1年生になるSくん

中学1年生になるKくん

中学での部活動を頑張ることです。バトミントン部に入り、日頃から練習などを頑張ろうと思います。一番の目標は試合に出て勝つことです。

中学1年生になるSくん

中学生になったら勉強と部活を頑張る！

小規模保育園キッズホーム ～令和3年度わたげの会～

3月26日に「わたげの会（卒園式）」が行われました。今年度は3名のかわいい子ども達が立っていました。以前より交流のある「あぐりハウス」（高齢者施設）の皆様からも子どもたちにお祝いのメッセージをいただき、日頃から温かく見守って下さっていることに感謝申し上げます。4月からは3人とも「認定こども園キッズランド」に進級することになっています。これからも3人の更なる成長を陰ながら応援しています。

